

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

都市生活を支える事業を通して、新しい価値を創造し、社会の発展に貢献する

不動産流動化

1,000億円以上

② 中長期の経営戦略

1. 沿線価値共創戦略

移動プラットフォームとまち創造プラットフォームの相互価値共創により、地域と当社グループの持続的発展を実現。ローカルプラットフォームナーとして多極型まちづくりを推進

3. 顧客視点の徹底

サービス提供を通じて蓄積したデータを一元化・可視化し、グループ全体で横断的に活用。体制整備と人財育成で意識・風土改革を推進

2. 事業構造変革

不動産事業を長期保有型から回転型へ転換。私募ファンド・私募リート組成で流動化を進め、2030年度までに1,000億円以上の不動産流動化を目指す

4. 人的資本経営の推進

多様な視点で価値創造できる「個」の成長と、異なる個の創発を促す組織カルチャー醸成。エンゲージメントサーベイで仮説検証を実施

③ 対処すべき課題

① 資本収益性の向上

- 不動産価値顕在化による流動化推進
- 事業別ROIC-WACC管理拡充
- 鉄道ワンマン運転等による効率化

② 財務マネジメント強化

- ROE目標引き上げと達成時期明確化
- 純有利子負債／EBITDA倍率と自己資本比率管理
- 品川駅周辺開発など成長投資の着実実行

③ 沿線全体の活性化

- 羽田空港第1・第2ターミナル駅引上線整備
- 川崎・横浜エリア開発プロジェクト推進
- 多極型まちづくりで各地に住・働・楽・学拠点整備

面接で使えるポイント

- 京急グループは2040年度を長期ビジョン実現年度として、品川・羽田・横浜の成長トライアングル開発に注力している
- 2030年度までに不動産1,000億円以上の流動化を目指し、回転型ビジネスへの転換により資本収益性向上を追求
- ローカルプラットフォームナーとして多極型まちづくりを推進し、沿線全体に移動と住・働・楽・学が揃う環境を創造

証券コード 9006

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,042億円営業利益率
11.0%財務健康度
36点 /100点

将来性 雨 / 就活偏差値 56.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
723万円

陸運業内 22位/57社

平均年齢
40.0歳

陸運業内 48位/57社

平均勤続
17.0年

陸運業内 23位/57社

女性管理職
7.0%

陸運業内 22位/46社

男性育休
90.0%

陸運業内 23位/44社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
関東地域を中心に多角的な事業を展開する上場企業

主力事業・セグメント

- ・運輸 43.0%
- ・Retailing 29.9%
- ・不動産 16.1%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高3,042億円の事業規模
- ・営業利益率11.0%の安定した収益性
- ・平均勤続17.0年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

